

カボチャ



作型

吸肥力が旺盛なので、肥料が多いと茎葉が茂りすぎて着果しなくなる。土壌が肥えている時は、元肥は控え、様子をみながら追肥する。

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	品 種 名
春 植 え 直 ま き			○	△	—	—	—	—	—	—	—	—	えびす、みやこ（西洋種） 黒皮（日本種）
				○	—	—	—	—	—	—	—	—	

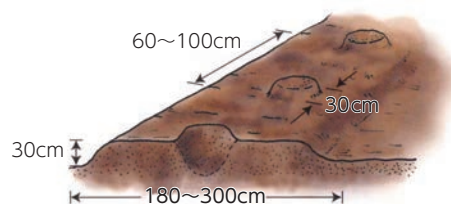
○：種まき △：植え付け ■：収穫

畑の準備・定植

土づくり aあたり	
堆肥	300kg
セルカ（有機石灰）	10kg
植え付け1ヶ月前に土とよく混合	
元肥 aあたり	
油粕	20kg
畝立時施用	

- 西洋種：畝幅300cm
株間60～80cm
- 日本種：畝幅180cm
株間90～100cm

- 畝高30cm
- 定植位置をやや高くする。
- 元肥はマルチ幅程度に施用する。



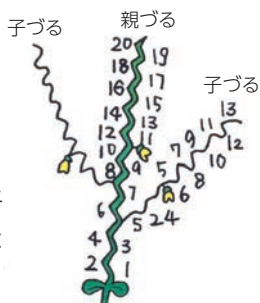
■直まき

1ヶ所に2～3粒まき、ビニールキャップをかぶせる。本葉2枚頃、1本に間引く。キャップはつるが一杯になれば取り除く。

整 枝

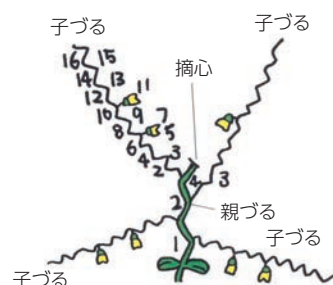
西洋種

- 摘心はせずに、親づると、子づる2～3本を伸ばす。親づるの10～17節目と子づるの5～6節目に雌花はつく。



日本種

- 本葉5～6枚で摘心し、子づるを4本伸ばす。この子づるの4～5節目に雌花がつく。



追肥・敷きわら

- 子づる50cm頃：つるの伸びに合わせてわらを敷く。
- 着果したとき：つるの先に、野菜専用肥料3kg/aまたは油粕8kg施用する。

防 除

病害虫名	耕種防除	薬剤防除
ネキリムシ		ダイアジン粒剤5（600g/a）植付時土壌混和

収 穫

西洋種

- 開花後40～50日で、果梗部（つると果実をつないでいる部分）が縦にひび割れ硬くなってコルク化した頃。

日本種

- 果皮がやや褐色がかり、白粉をふく頃。貯蔵は風通しの良い日陰に置く。貯蔵に適する条件は温度7～10℃、湿度75～80%。

ジャガイモ

ナス科ナス属の植物ジャガイモ。煮崩れしにくいので煮込み料理に最適のメーカー。デンプン質が多くホクホクした食感の男爵。甘みと香りの良いキタアカリなど、年々種類も豊富になり品種選びの楽しみも。



作型

種いもは毎年更新する。(自家用種いもはウイルス病にかかっている場合がある。) マルチ栽培すると早取りが可能となる。連作を嫌うので、ナス科(なす、トマト、ピーマン等)を2~3年作っていない場所を選ぶ。

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	品 種 名
春 植 え			△△	—		■	■						メーカーイン・男爵・キタアカリ

△: 植え付け ■: 収穫

畑の準備・定植

土づくり a当たり	
堆肥	300kg
セルカ(有機石灰)	5kg
植え付け1ヶ月前に土とよく混合	
元肥 a当たり	
醗酵鶏糞	20kg
畝立時施用	

- 2条植え 畝幅100~120cm 株間30~40cm(条間40cm千鳥植え)
- 深さ10cmの溝を掘り、底に元肥を施用後、間土し、いもの切口を下に向けて植える。
- 覆土は種いもの厚さの3倍程度(5~10cm)

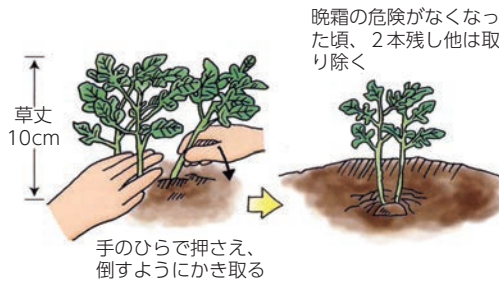
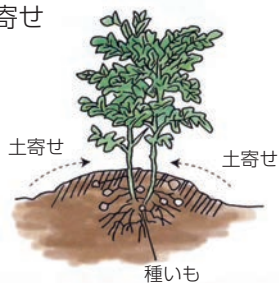
種いもの準備

30~40gの種いもを用いる。60g以上のいもは30~40gとなるよう(芽が全て均等に付くよう)に切り、陰干し乾燥させる。



間引き・追肥・土寄せ

- 草丈10cm頃: 肥大促進のために太く大きい芽を2~3本残し、野菜専用肥料4~5kg/aを施用後、土寄せを行う。
- 草丈15~30cm頃: 株元に5cmの厚さに土寄せをする。(2回程度)



防除

病害虫名	耕種防除	農薬による防除
アブラムシ類	光反射テープを畝上に張る	トレボン乳剤 1,000倍 収穫7日前まで 3回以内
テントウムシダマシ	捕殺を行う	スミチオン乳剤 1,000倍 収穫3日前まで 6回以内

収穫

- 地上部が枯れるまでいもは肥大し続ける。
- 3~4日晴天が続く、土が乾いている時に傷付けないように掘る。雨が続けているときに収穫すると、腐りやすくなります。(新しいいもは皮が弱いので、丁寧に掘り取る。)

貯蔵

収穫したら積み上げないようにして日陰で乾かす



直射日光に当てると緑化し品質を損ねる

